平成14年度

市内遺跡発掘調査報告書

2003.3

前橋市教育委員会

例　　言

1．本書は、平成14年度に埋蔵文化財の確認調査を実施した市内遺跡発掘調査（埋蔵文化財発掘調査事業）の概要をまとめたものである。

2．本事業にかかわる経費は、平成14年度文化財関係国庫補助事業として、国庫補助・県費補助及び市費によって計上された。

3．確認調査は、前橋市教育委員会 文化財保護課 埋蔵文化財係が担当・実施した。

文化財保護課長　高橋正男

埋蔵文化財係長　眞塩欣一

調 査 担 当 者　高山　剛、小峰　篤、内藤　孝

4．確認調査にかかわる記録類、出土遺物は前橋市教育委員会文化財保護課で保管している。

5．本書中に使用している火山噴出物の指標は以下のとおりである。

Ａｓ－Ｂ（浅間Ｂテフラ）：天仁元年（1108年）、浅間山噴火に伴い噴出

Ｈｒ－ＦＰ（榛名二ツ岳伊香保テフラ）：6世紀中葉、榛名山二ツ岳形成時に噴出

Ｈｒ－ＦＡ（榛名二ツ岳渋川テフラ）：6世紀初頭、榛名山二ツ岳形成時に噴出

Ａｓ－Ｃ（浅間Ｃテフラ）：4世紀初頭、浅間山噴火に伴い噴出

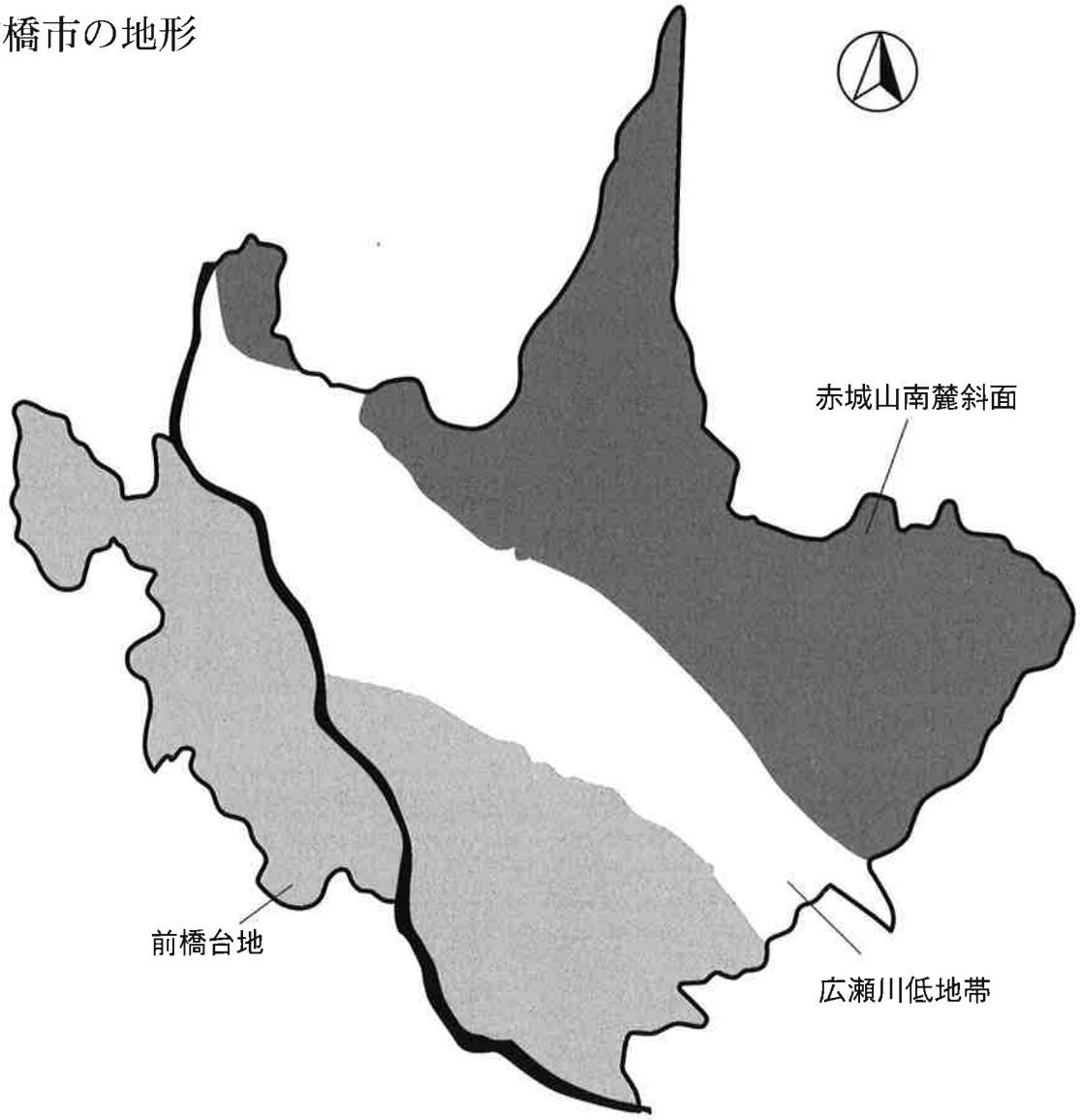
目　　次

例　言

目　次

1．前橋の地形・・・

1. 前橋市の地形



前橋市は、地形区分の上では「赤城山南麓斜面」、「前橋台地」、「広瀬川低地帯」に分類できる。

「赤城山南麓斜面」は、市の北～東部に位置し、南に緩傾斜する赤城山の裾野である。赤城山の山体崩壊によって形成された流山や中小河川によって形成された台地と谷地が多くみられる地域である。台地では古墳や集落跡が発見される可能性が高く、谷地では水田跡が発見される場合がある。

「前橋台地」は、市の西～南西部に位置し、広瀬川低地帯より一段高い台地状の地域である。北西端にあたる部分は榛名山東麓斜面との移行部であり、南東に緩傾斜している。台地面は詳しく見れば多少の起伏をもっているが、ほとんど平坦である。台地や微高地では古墳や集落跡が、低地では水田跡が発見されている。

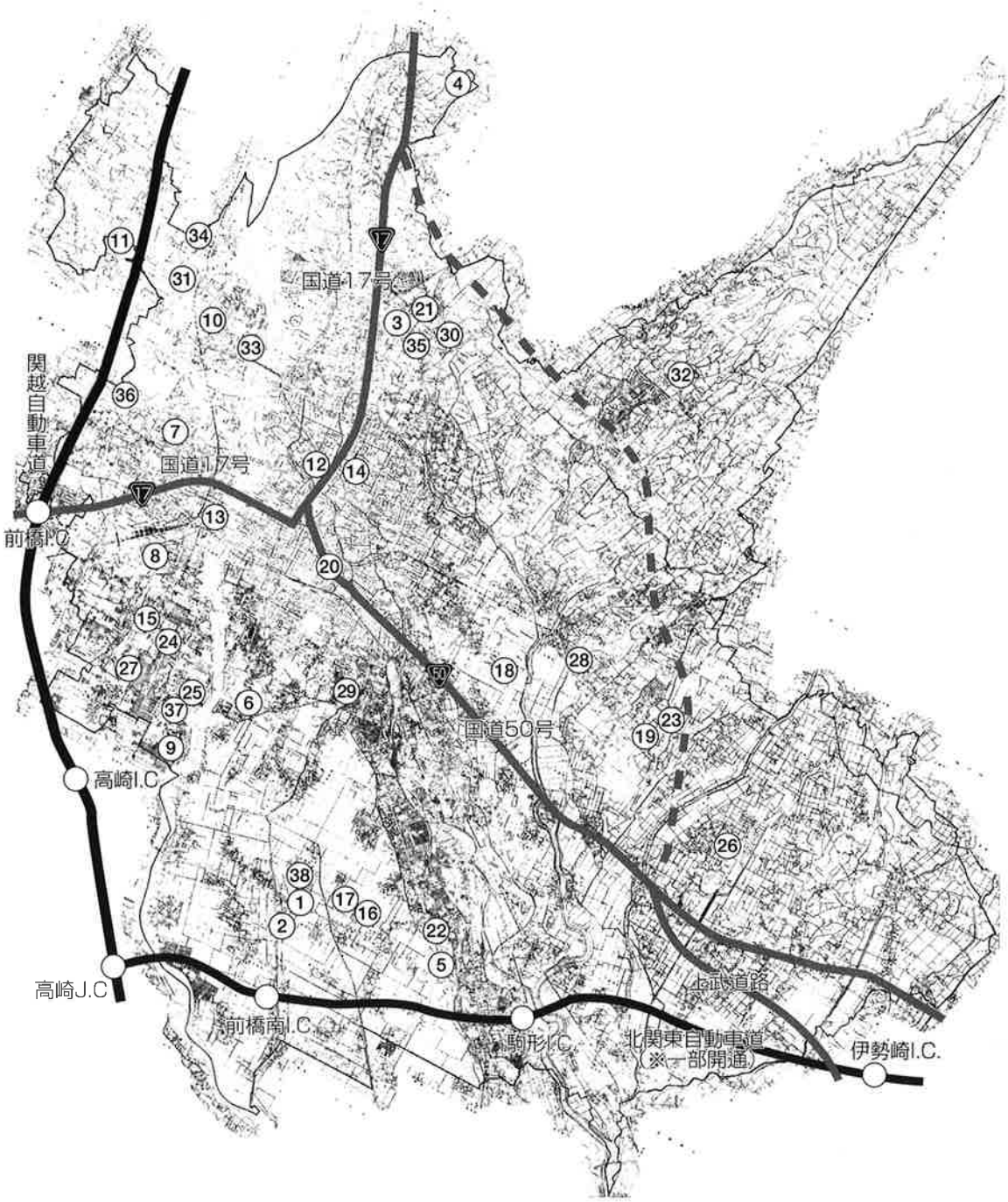
「広瀬川低地帯」は、市の北西部から南東部に帯状に位置し、赤城山南麓斜面の崖と前橋台地北東縁の崖に挟まれた一段低い地域であり、旧利根川の氾濫原である。低地帯の面を詳しく見ると必ずしも平坦ではなく、各所に自然堤防や微高地が存在する。この地域は遺跡が発見される可能性の低い地域とされてきたが、微高地に集落跡、低地に水田跡が発見される場合がある。

2. 確認調査地一覧表

[No.は試掘調査実施日順]

No.	所　在　地	開発面積(㎡)	開発原因	調　査　日	試　掘　調　査　結　果
1	宮地町58-8	2,000	店舗建設	H14.4.9	遺構は検出されず。
2	宮地町334-1他	3,013	店舗建設	H14.4.9	遺構は検出されず。
3	青柳町340-5	594	消防団詰所	H14.4.10	遺構は検出されず。
4	田口町字中子789-1	169	高圧送電線鉄塔建替	H14.4.10	遺構は検出されず。
5	東善町70-4他	1,064	事務所建設	H14.4.11	遺構は検出されず。
6	六供町1135-1他	2,118	事務所建設	H14.4.11	遺構は検出されず。
7	大友町三丁目12-5	817	店舗建設	H14.4.16	遺構は検出されず。
8	古市町字七仏426-1・426-3	1,335	宅地造成	H14.4.19	遺構は検出されず。
9	下新田町字中沖306・308	3,970	宅地造成	H14.4.19	遺構は検出されず。
10	総社町植野351-1・351-5	780	アパート建設	H14.4.24	遺構は検出されず。
11	青梨子町504-2	1,566	老人ホーム建設	H14.4.26	遺構は検出されず。
12	昭和町二丁目132-4	2,611	宅地造成	H14.5.1	遺構は検出されず。
13	石倉町二丁目8-2他	962	アパート建設	H14.5.2	遺構は検出されず。
14	国領町一丁目11-40	1,518	宅地造成	H14.5.2	遺構は検出されず。
15	箱田町字道上79他	2,980	宅地造成	H14.5.10	遺構は検出されず。
16	西善町528-1	11,387	倉庫建設	H14.5.14	遺構は検出されず。
17	西善町621	6,174	倉庫建設	H14.5.21･22	遺構は検出されず。
18	東片貝町427-1	1,605	アパート建設	H14.5.23	遺構は検出されず。
19	江木町1010-1	5,400	道路建設	H14.5.30･31	遺構は検出されず。
20	表町二丁目10-1	2,064	アパート建設	H14.7.22	遺構は検出されず。
21	青柳町字宿西768-1	1,362	アパート建設	H14.7.25	遺構は検出されず。
22	山王町77-4	821	墓地造成	H14.8.6	古墳築造時の墳丘面
23	富田町1135-2他	165	高圧送電線鉄塔建替	H14.9.4	遺構は検出されず。
24	後家町23-1他	10,000	宅地造成	H14.9.24･25	遺構は検出されず。
25	上新田町字諏訪1190-1他	1,676	宅地造成	H14.10.2	遺構は検出されず。
26	荒口町525-3・525-7	2,046	診療所併用住宅	H14.10.3	遺構は検出されず。
27	箱田町字西稲荷境1234-1他	2,280	宅地造成	H14.10.8	遺構は検出されず。
28	堀之下町155	2,187	社務所兼管理棟	H14.10.16	遺構は検出されず。
29	天川町字二子山前96-1	634	アパート建設	H14.11.13	遺構は検出されず。
30	上細井町1212-1他	3,784	保育園建設	H15.2.13	遺構は検出されず。
31	高井町一丁目22-10他	4,666	宅地造成	H15.2.17	遺構は検出されず。
32	小坂子町102-1	3,724	診療所建設	H15.2.19	遺構は検出されず。
33	総社町総社字城川1349他	2,347	宅地造成	H15.2.25	遺構は検出されず。
34	総社町植野字西久保1127-1	2,336	宅地造成	H15.2.24	遺構は検出されず。
35	青柳町字小八幡447-1	2,956	宅地造成	H15.3.4	遺構は検出されず。
36	総社町総社3159-2	240	道路改築	H15.3.13	遺構は検出されず。
37	下新田町字町下601-1他	1,527	ケア型マンション建設	H15.3.19	遺構は検出されず。
38	下佐鳥町466-3・467-3	2,002	店舗建設	H15.3.20	遺構は検出されず。
	合　　計	93,111			

3. 確認調査地位置図

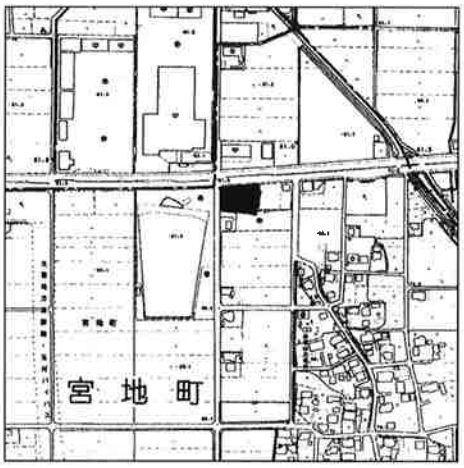


4.平成14年度確認調査の概要

本年度は、３８件の埋蔵文化財確認調査依頼が提出され、市内遺跡発掘調査（埋蔵文化財発掘調査事業）として確認調査を実施した。

確認調査の結果、２２号の山王町７７－４に所在する文珠山古墳で築造時の墳丘面を確認した。

4. 各確認調査の結果

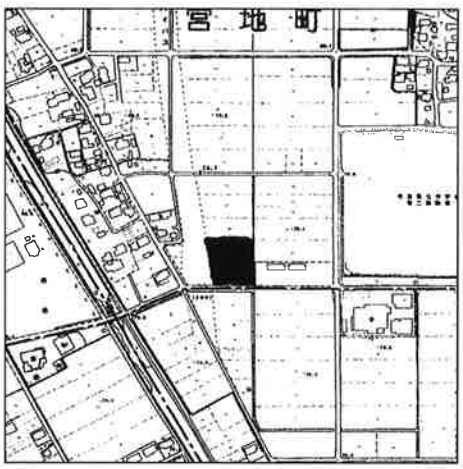


1　宮地町５８－８

開発面積　2,000㎡　開発原因　店舗建設
調査日　平成14年４月9日
調査の概要

本開発予定地は利根川左岸の前橋台地に位置し、周辺地域には西善壱町田遺跡や東田遺跡・宮地内田遺跡など平安時代の水田跡が確認されている。

調査の結果、トレンチ西端の地層堆積状況は、現地表下27㎝は耕作土で、その下は厚さ12㎝の灰黄褐色粘質土・厚さ13㎝の暗褐色粘質土・厚さ24㎝の暗褐色砂質土・厚さ9㎝の黒色粘質土という堆積状況であった。また、トレンチ中央部の堆積状況も同様で、黒色粘質土の直下は乳白色シルトとなった。周辺の遺跡の検出状況から水田耕作の痕跡が確認される可能性がありトレンチ平面及び断面を観察したが、畦畔など水田耕作の痕跡は検出されなかった。遺物も検出されていない。



2　宮地町３３４－１ほか

開発面積　3,013㎡　開発原因　店舗建設
調査日　平成14年４月9日
調査の概要

本開発予定地は利根川左岸の前橋台地に位置し、周辺地域には、西善壱町田遺跡や東田遺跡・宮地内田遺跡など平安時代の水田跡が確認されている。

調査の結果、1号トレンチ南端部の堆積状況は、現地表下35㎝は耕作土で、その下は厚さ29㎝の暗黄褐色粘質土となり、厚さ6㎝のAs-B・厚さ43㎝の黒褐色粘質土と続く。トレンチ中央部も同様の堆積状況だった。2号トレンチも1号トレンチと同様の堆積状況であった。いずれのトレンチからも遺構及び遺物は検出されなかった。

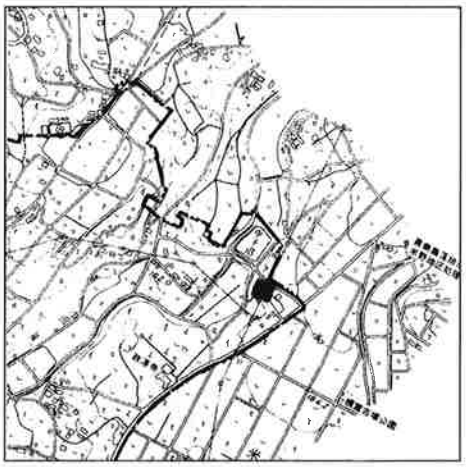
3　青柳町３４０－５

開発面積　594㎡　開発原因　消防団詰所
調査日　平成14年４月１０日
調査の概要

本開発予定地は旧利根川河川域のいわゆる広瀬川低地帯に位置する。開発予定地の約700m東には平安時代の住居跡や溝跡が検出された青柳宿前Ⅱ遺跡がある。

調査の結果、地表下約80㎝から90㎝の深さでHr-FPを含んでいる土層を確認し、遺構の有無を調査したが遺構及び遺物は検出されなかった。

4　田口町字中子７８９－１



開発面積　169㎡　　開発原因　特別高圧送電線鉄塔建替工事
調査日　平成14年４月10日
調査の概要

本開発予定地は赤城山南面の前橋市と北橋村の境界に位置する橋山（標高228ｍ）南東斜面と谷地を挟んだ丘陵地の南西傾斜地にある。周辺部には奈良～平安時代の集落跡を検出した田口八幡Ⅰ・Ⅱ遺跡がある。

調査の結果、現地表下30㎝までは現在の耕作土で、その直下はソフトローム層となった。トレンチの3カ所で後世の攪乱を検出したが、遺構及び遺物は検出されなかった。

5　東善町７０－４・７０－５

開発面積　1,064㎡　　開発原因　事務所建設
調査日　平成14年４月11日
調査の概要

本開発予定地は旧利根川右岸の前橋台地に位置する。500ｍ東には韮川が流れ、300ｍ南東には平安時代の住居跡が約100軒検出された前田遺跡があり、開発予定地と高崎駒形線を挟んだ向かい側には平安時代の住居跡を検出した前田Ⅱ遺跡がある。

調査の結果、建設予定箇所の北側は以前の建造物の基礎の影響を受けており、土層が破壊されていた。一部でAs-Bを検出しその直下から褐色粘質土・黒褐色粘質土の堆積が認められたため水田耕作の痕跡を調べたが遺構・遺物は確認されなかった。

6　六供町１１３５－１ほか

開発面積　2,118㎡　　開発原因　事務所建設
調査日　平成14年４月11日
調査の概要

本開発予定地は利根川左岸の前橋台地に位置する。周辺には六供下堂木遺跡や六供東京安寺遺跡など古墳から平安時代にかけての住居跡や水田跡が確認されている。

調査の結果、1号トレンチの南端部で地表下70㎝の深さから、Hr-FPを多量に含んだ黒色微砂層を検出した。その下の暗褐色微砂層からは流れ込みと思われる土師器片を数点検出した。トレンチ中央部では土層の反転が確認され、黒色微砂層が埋土の直下から検出された。2号トレンチでも同様の土層の反転がみられた。2号トレンチからは遺物は検出されなかった。2号トレンチは後生の攪乱を広範囲に受けており土層は破壊されていた。いずれのトレンチからも遺構は検出されなかった。

7　大友町三丁目１２－５

開発面積　817㎡　　開発原因　店舗建設
調査日　平成14年４月16日
調査の概要

本開発予定地は榛名山南麓の滝川の右岸の台地上に位置する。周辺部には開発予定地の西側を流れる牛池川周辺を中心に中世の蒼海城跡・推定国府跡の御霊神社をはじめ、遺跡が集中している総社地区がある。

調査の結果、1号トレンチ西端部の地表下約30㎝から流れ込みと思われる土師器片数点を検出した。しかし土器が出土したのはトレンチ西端部だけであった。また、地表下約40㎝の深さから後世の掘り込みと思われる痕跡がトレンチの大部分で確認された。また、1号トレンチの南側に設定した2号トレンチからは遺物は検出されず、遺構も確認されなかった。

8　古市町字七仏４２６－１・４２６－３

開発面積　1,335㎡　　開発原因　宅地造成
調査日　平成14年４月19日
調査の概要

本開発予定地は利根川右岸の前橋台地上に位置する。開発予定地の東側150ｍの地点には、古墳時代の住居跡や畝状遺構が検出された赤烏遺跡がある。

調査の結果、1号トレンチ北端部では現地表から深さ120㎝までは盛土されており、その下に黄褐色粘質土・黒褐色粘質土が堆積していた。2号トレンチも現地表下75㎝までは盛土だったが、トレンチ中央部地表下約120㎝からAs-Bが混入した暗褐色土を検出した。トレンチ平面・断面を観察したが、遺構・遺物は確認されなかった。

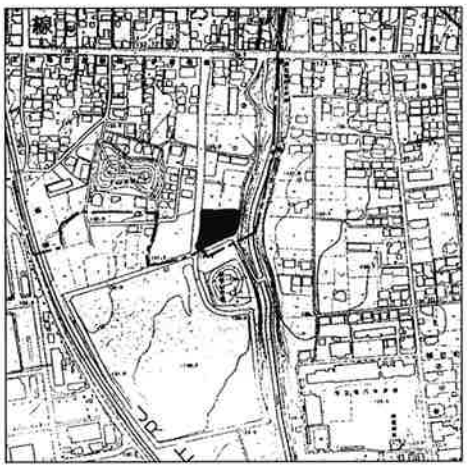
9　下新田町字中沖３０６・３０８

開発面積　3,970㎡　　開発原因　宅地造成
調査日　平成14年４月19日
調査の概要

本開発予定地は利根川右岸の前橋台地に位置し、古代の土地区画制度である「条里制」の残る地域である。南側を東西に走る道は条理の坪境畦畔（108ｍ間隔のあぜみち）と想定され、500ｍ東側に平安時代の住居跡が確認された下新田遺跡があり、開発予定地の隣接地は平安時代の水田跡を検出した下新田中沖Ⅰ・下新田中沖Ⅱ遺跡がある。

調査の結果、開発予定地は全面にわたり1ｍ程度の盛土が施されており、盛土を掘削し、旧地表面を確認し更に掘り進めて土層観察をしたところ、褐色粘質土・黄褐色粘質土・As-Bの順で堆積していた。As-Bを丁寧に除去すると暗褐色粘質土層を確認した。しかし、水田畦畔等水田耕作の痕跡は確認されなかった。

１０　総社町植野３５１－１ほか



開発面積　780㎡　　開発原因　アパート建設
調査日　平成14年４月24日
調査の概要

本開発予定地は利根川右岸の前橋台地上に位置する。開発予定地の約50m南には愛宕山古墳があり、平成7年度に発掘調査を行い古墳の範囲を確認している。

調査の結果、古墳に近い位置の1号棟予定地に設定した1号トレンチでは、現地表下25㎝の深さまでは耕作土でその下は厚さ75㎝にわたり盛土であった。盛土の直下は明黄褐色土（ハードローム）が厚さ40㎝ほど堆積していた。トレンチ中央部から部分的にAs-Bを検出した。1号トレンチの約20m北に設定した2号トレンチは全体にわたり後世の攪乱を受けており、土層は破壊されていた。いずれのトレンチからも、遺構・遺物は検出されなかった。

１１　青梨子町５０４－２

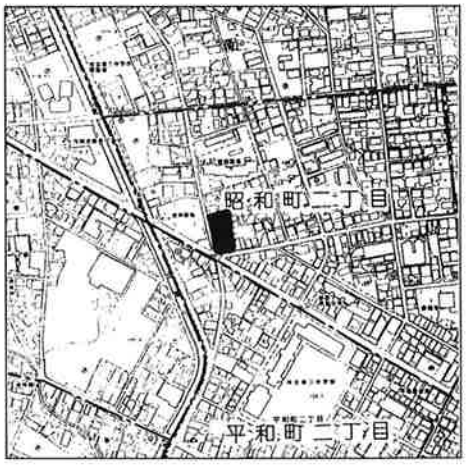
開発面積　1,566㎡　　開発原因　老人ホーム建設
調査日　平成14年４月26日
調査の概要

本開発予定地は榛名山東南麓、八幡川左岸の台地上に位置する。開発予定地付近は、以前から縄文土器の散布地及び古墳の分布地とされている。

開発予定地に隣接しているグラウンドからは、奈良～平安時代の住居跡を検出した中島遺跡がある。

調査は建物部分に合計3カ所のスポット堀りと1本のトレンチを設定して行った。スポット堀りではいずれも現地表下25㎝の深さまでは耕作土でその直下は埋土となっていた。トレンチ掘削をした箇所からは深さ40㎝で非常に堅い水成堆積層を確認したが、いずれのスポット・トレンチからも遺構・遺物は検出されなかった。

１２　昭和町二丁目１３２－４　ほか



開発面積　2,611㎡　　開発原因　宅地造成
調査日　平成14年５月１日
調査の概要

本開発予定地は旧利根川左岸のいわゆる広瀬川低地帯に位置する。広瀬川低地帯は、比較的遺跡の少ない地域とされているが、微高地や台地上には遺跡があり、低地でも中州には遺跡が確認されている。

調査の結果、道路予定地に設定した合計7本の確認トレンチの全てにおいて旧利根川流域の痕跡と思われる大量の川砂を検出した。

その他、以前の建造物の基礎部分や大量の灰と廃棄物が確認されたが、遺構・遺物は確認されなかった。

１３　石倉町二丁目８－２ほか

開発面積　962㎡　　開発原因　アパート建設
調査日　平成14年５月２日
調査の概要

本開発予定地は利根川から西へ約200ｍほどの前橋台地上に位置する。周辺部には開発予定地の南300ｍの地点に古墳から平安時代の住居跡を検出した石倉下宅地遺跡がある。

調査の結果、1号トレンチでは地表下125㎝の深さまでは埋土であった。1号トレンチの西側に設定した2号トレンチでは現地表から20㎝下でにぶい黄褐色微砂層・Hr-FPの混入が認められた褐色微砂層・灰黄褐色粘質土層・乳白色粘土層の順で堆積していた。トレンチの平面及び断面を観察したが、遺構及び遺物は検出されなかった。

１４　国領町一丁目１１－４０

開発面積　1,518㎡　　開発原因　宅地造成
調査日　平成14年５月2日
調査の概要

本開発予定地は旧利根川流域のいわゆる広瀬川低地帯に位置する。しかし、中州となっていた部分には住居跡などが確認されている。

調査の結果、道路予定地に1号・2号トレンチともに地表下約30㎝前後はバラスで、その直下に厚さ20㎝ほどの褐色微砂層となり、あとは地表50㎝～103㎝の深さまでは旧利根川流域の痕跡と思われる川砂を確認しただけであった。いずれのトレンチからも遺構・遺物は検出されなかった。

１５　箱田町字道上７９ほか

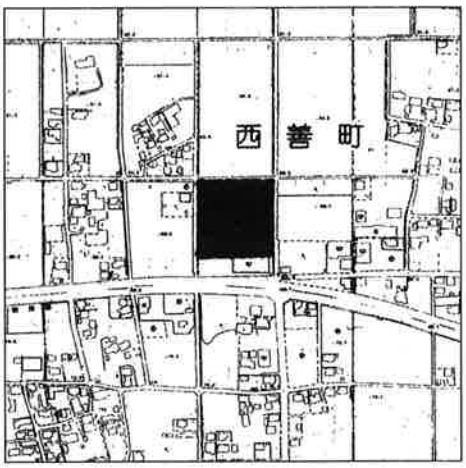
開発面積　2,980㎡　　開発原因　宅地造成
調査日　平成14年5月10日
調査の概要

本開発予定地は利根川右岸の前橋台地に位置する。開発予定地の周辺は古代の区画制度である「条里制」の残る地域とされている。

開発予定地から約200ｍ南西には平安時代の水田跡が確認された江田下り柳遺跡がある。

調査は道路計画部分に合計7カ所のトレンチを設定して行った。その結果、全てのトレンチからAs－Ｂが混入している暗褐色或いは黒色微砂層を現地表下40～60㎝で確認したが、純層は確認できなかった。また全てのトレンチで現地表から30㎝ほどの深さまで人為的に盛土を施された痕跡が認められた。As-B混土層の直下の粘質土層が水田の床土の可能性があるためトレンチ平面・断面を観察したが、畦畔などの水田耕作の痕跡は確認されなかった。

１６　西善町５２８－１ほか



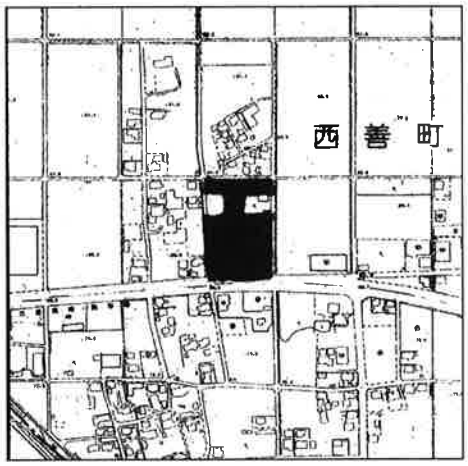
開発面積　11,387㎡　開発原因　倉庫建設
調査日　平成14年5月１４日
調査の概要

本開発予定地は前橋台地東縁の広瀬・朝倉古墳群から南西約1.5kmに位置する。周辺部には約400m西に平安時代の水田跡を検出した西善壱町田遺跡が、更に西に500mの地点には、古墳時代の土器を大量に含む井戸跡を検出した東田遺跡がある。

調査の結果、現地表面から約40cmの深さまでは、後世の土地改良の影響で土層が既に掘削されており、盛土が施されていた。周辺部の調査では検出されていたAs-Bも検出されなかった。

倉庫建設予定地に合計12本の確認トレンチを入れてみたが、全てのトレンチが同様の土層堆積状況であった。時代不明の溝1条とそこから流れ込みと思われる土器片数点を確認しただけであった。

１７　西善町６２１ほか

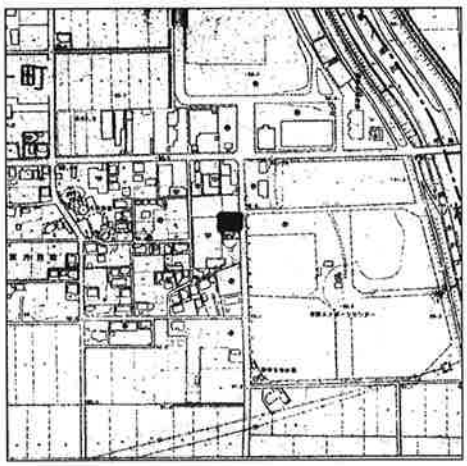


開発面積　6,174㎡　開発原因　倉庫建設
調査日　平成14年5月21日・22日
調査の概要

本開発予定地は前橋台地東縁の広瀬・朝倉古墳群から南西約1.5kmに位置する。周辺部には約400m西に平安時代の水田跡を検出した西善壱町田遺跡が、更に西に500mの地点には、古墳時代の土器を大量に含む井戸跡を検出した東田遺跡がある。

調査の結果、場所によりAs-Bを検出したが、堆積状況が一定ではなく、後世の耕作による土層の撹拌の痕跡が確認できた。合計10本の確認トレンチを入れたが、いずれのトレンチからも遺構・遺物は確認されなかった。

１８　東片貝町４２７－１

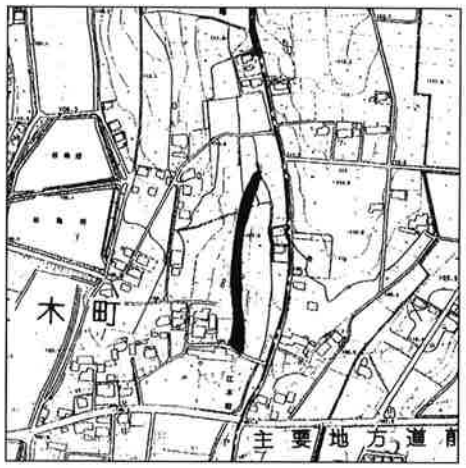


開発面積　1,605㎡　開発原因　アパート建設
調査日　平成14年5月23日
調査の概要

本開発予定地は旧利根川流域のいわゆる広瀬川低地帯に位置する。周辺部には約400m北東に奈良時代の住居跡を検出した石関西田遺跡がある。

調査箇所がアスファルト舗装を施されていたため、舗装をはがしての調査となった。その結果、アスファルト舗装の下はバラスと埋土が約1mほどあり、その下から川砂とAs-Bを確認した。As-Bの純層も確認したが、ごく僅かであり、地表下2mほど掘り下げたが遺構・遺物は検出されなかった。

１９　江木町１０１０－１ほか



開発面積　5,400㎡　開発原因　道路新設
調査日　平成14年5月30日・31日
調査の概要

本開発予定地は前橋市北東部、赤城山南麓の裾野に位置する。周辺では上武国道建設やローズタウン住宅団地造成に伴い、ここ近年埋蔵文化財発掘調査が数多く実施されている地域である。最も近接する富田下大日遺跡では、縄文時代から奈良・平安時代にかけての集落跡を検出している。

調査は、道路建設予定の車道中央部にトレンチを5カ所設定して実施した。その結果、1号～3号トレンチでは現地表下から50～80㎝の深さでAs-Bを確認した。堆積状況はほぼ均一であった。しかし、トレンチ平面及び断面を観察したが、遺構・遺物は確認されなかった。4号・5号トレンチではAs-Bは検出されず攪乱も見受けられ遺構・遺物も検出されなかった。
できなかった。

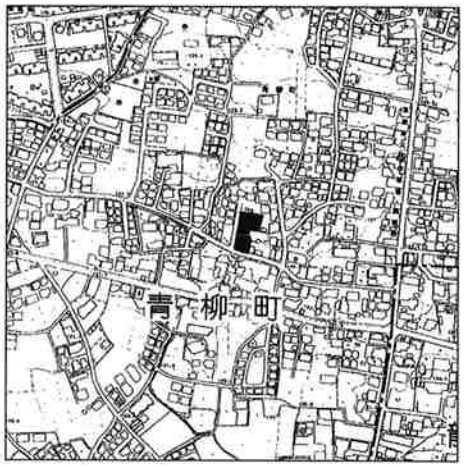
２０　表町二丁目１０－１ほか

開発面積　2,064㎡　開発原因　アパート建設
調査日　平成14年7月22日
調査の概要

本開発予定地は前橋駅の北300ｍの市街地に位置する。周辺部の遺跡では2km南に六供下堂木遺跡や六供東京安寺遺跡など、古墳～平安時代の住居跡や水田跡が確認されている。

調査箇所がアスファルト舗装のため、舗装をはがしての調査となった。その結果、トレンチ東端でHr-FPを含む黒色粘質土を地表下約60㎝の深さから確認し、この層から数点の土器片を検出した。またここから住居の竈跡と思われる痕跡が一部認められたが、後世の建物の基礎により破壊を受けており、全容は確認不能であった。また水道管等が埋設されており、攪乱が著しく遺構は検出されなかった。

２１　青柳町字宿前７６８－１ほか



開発面積　1,362㎡　開発原因　アパート建設
調査日　平成14年7月25日
調査の概要

本開発予定地は旧利根川河川域のいわゆる広瀬川低地帯に位置する。周辺部の遺跡は開発予定地の南約500ｍに平安時代の住居跡を検出した青柳宿前遺跡がある。

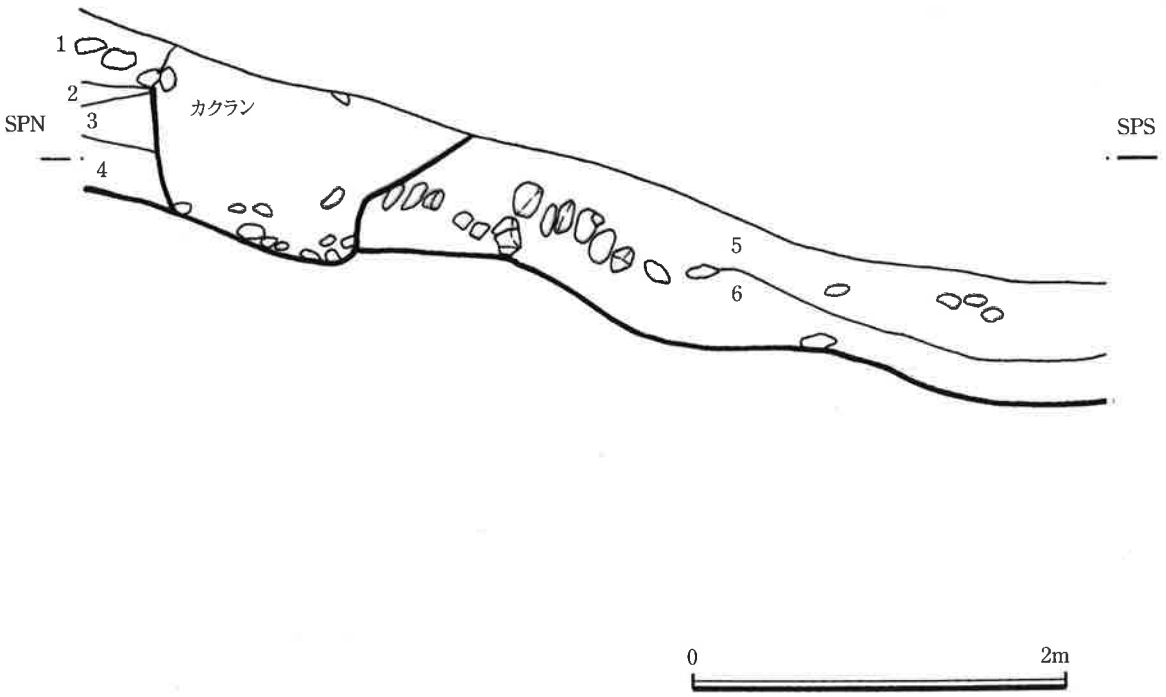
調査の結果、アパート2棟の予定地に1本づつ確認トレンチを入れたが、A棟予定地に設定した1号トレンチでは地表下130㎝までは埋土で、その下は旧河川のものと推定される川砂が直径10～15㎝の礫を伴って検出された。また、B棟予定地に設定した2号トレンチでは地表下60㎝までは埋土で、その下は1号トレンチ同様に川砂となった。遺構・遺物は検出されなかった。

２２　山王町７７－４ほか

開発面積　821㎡　開発原因　墓地造成
調査日　平成14年8月6日
調査の概要

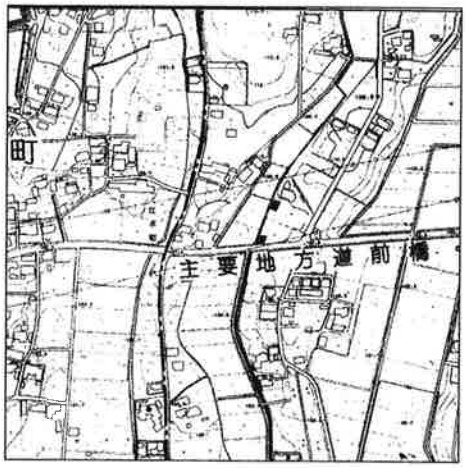
本開発予定地は広瀬・山王町にまたがる古墳群の南端部に位置する文珠山古墳である。今回の調査は、墳丘南面～墳丘西面の平坦部を利用しての墓地造成をするにあたり、事前に試掘調査を実施し、墳丘の状態を確認するために実施した。

最初に、墳丘南面平坦部の東縁を画する端に沿うように、南北方向に1号トレンチを設定し旧地形を確認した。このトレンチの断面で2段に築成されている墳丘の傾斜が把握でき、葺石も確認した。石は径が15～25㎝のものが多く検出された。石の最下段で45×35㎝ほどの根石と思われる石も検出した。1号トレンチの西側に設定した2号トレンチでは、かなり深い部分までゴミ穴が掘られており、旧地形の確認はできなかった。階段の脇に設定した3号トレンチでは、現地表下50㎝までは攪乱が著しかったが、その下部で旧地表・盛土を確認した。3号トレンチからは石田川式土器片などを数点検出した。古墳の削平されている平坦部は後世の攪乱により古墳の構築面が完全に破壊されていた。この結果、墳丘西側平坦部については古墳の景観上の観点から計画の見直しをお願いした。



1層	暗褐色微砂層	7.5YR	3/3	粘性×	締まり△	
2層	褐色微砂層	7.5YR	4/3	粘性×	締まり△	少量の黄褐色微砂をブロック状に含む
3層	暗褐色微砂層	7.5YR	3/3	粘性×	締まり○	2層に含まれる黄褐色微砂が多く含まれる
4層	暗褐色微砂層	7.5YR	3/3	粘性×	締まり△	2層と同程度の黄褐色微砂をブロック状に含む
5層	褐色微砂層	7.5YR	4/4	粘性×	締まり△	混入物なし
6層	褐色微砂層	7.5YR	4/3	粘性×	締まり△	古墳構築面

２３　富田町１１３４－１・１１３５－２

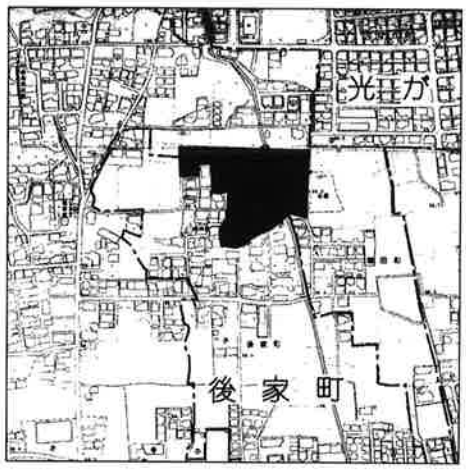


開発面積　165㎡　開発原因　特別高圧送電線鉄塔建替工事
調査日　平成14年9月4日
調査の概要

本開発予定地は前橋市北東部、赤城山南麓の裾野に位置する。周辺では上武国道建設やローズタウン住宅団地造成に伴い、ここ数年埋蔵文化財調査が数多く実施されている地区である。本開発予定地に隣接する上武国道予定地での発掘調査でも縄文から奈良・平安時代にかけての集落跡が検出されている。

調査は、前橋赤堀線に接している南側の鉄塔建替予定地が極めて狭くなっており掘削が不可能のため、北側の鉄塔の建替予定地の調査を実施した。その結果9m四方の敷地内に対角線に南東方向にトレンチを設定し、平面及び断面を確認したが、後世の耕作痕の他には遺構・遺物は検出されなかった。

２４　後家町２３－１　ほか



開発面積　10,000㎡　開発原因　宅地造成
調査日　平成14年9月24日・9月25日
調査の概要

本開発予定地は利根川右岸の前橋台地に位置する。この地域は古代の土地区画制度である「条里制」の残る地域とされている。周辺部には約300m南西に五反田遺跡、400m南西に五反田遺跡、東側100mに箱田上境遺跡と平安時代の水田跡が発見されている。

調査の結果、すべてのトレンチで現地表面から約30㎝下でAs-B純層と混土層、その下には黒褐色粘質土の水田遺構面と思われる土層面を確認した。As-Bの堆積状況は調査区全域にわたりほぼ平坦に堆積していた。周辺の遺跡の状況から水田跡の可能性があるため、各トレンチ平面及び断面を観察したが、畦畔など確定できるような遺構は発見されなかった。

２５　上新田町字諏訪１１９０－１　ほか

開発面積　1,676㎡　開発原因　宅地造成
調査日　平成14年10月2日
調査の概要

本開発予定地は利根川右岸の前橋台地上に位置する。この近辺は古代の土地区画制度である「条里制」の残る地域とされている。開発予定地の南西2kmの地点に平安時代の水田跡が発見された下新田中沖・下新田中沖Ⅱ遺跡がある。

調査の結果、現地表面から1.1mまでは埋土だった。更に掘り進めると廃棄物等が検出された。地盤が軟弱であり、湧水も見られたので、それ以上の掘削は不可能であった。なお、遺構・遺物は検出されなかった。

２６　荒口町５２５－３・５２５－7

開発面積　2,046㎡　　開発原因　医療診療所併用住宅
調査日　平成14年10月3日
調査の概要

本開発予定地は赤城山南麓斜面と呼ばれる裾野に属する傾斜地に位置し、山麓に源を発する中小河川によって南北に長い舌状台地と谷地を形成している地域である。開発予定地の南東約200mに位置する前橋市総合運動公園は鶴が谷遺跡群であり、開発予定地の北側に位置する鶴が谷団地は柳久保遺跡群と、開発予定地は遺跡群の狭間にある場所である。

調査の結果、トレンチ東端で表土の厚さ24㎝、西端で36㎝、表土の下は12㎝程度の厚さで褐色細砂層を確認した。その下になると粘性を帯びた黄褐色細砂層が地表下1mの深さまで堆積していた。この層からガラス片を検出した。トレンチ平面及び断面を観察したが遺構・遺物は確認されなかった。

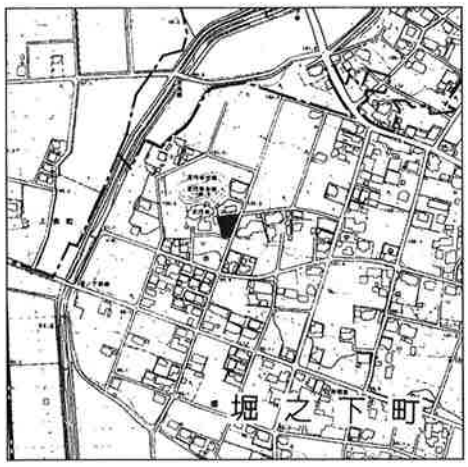
２７　箱田町字西稲荷境１２３４－１　ほか

開発面積　2,280㎡　　開発原因　宅地造成
調査日　平成14年10月8日
調査の概要

本開発予定地は利根川右岸の前橋台地上に位置する。300m西側に滝川が南流し、低地に水田跡、微高地に集落跡が検出されている。流れている。周辺は古代の土地区画制度である「条里制」の残る地域されている。

調査の結果、現地表面下80～90㎝は後世の埋土で、その下から厚さ約10㎝程度のAs-Bの堆積が確認された。その下は暗褐色粘質土だった。暗褐色粘質土まで掘り下げたところ湧水がひどくなったため直上でを掘止め、平面を観察したが、遺構・遺物は検出されなかった。

２８　堀之下町１５５　ほか



開発面積　2,187㎡　　開発原因　社務所兼管理棟
調査日　平成14年10月16日
調査の概要

本開発予定地は赤城山南麓斜面と呼ばれる裾野に位置し、山麓に源を発する中小河川によって南北に長い舌状台地と谷地を形成している地域である。開発予定地は正円寺古墳の南斜面に隣接している。

調査の結果、地表下70㎝の深さまでは表土・耕作土で、その下は漸移層となる。その下は明黄褐色土層で下層部ほど粘性は高くなる。正円寺古墳の隣地ということで、南側の周堀の一部に係る可能性があったが、土層堆積状況にも変化はなく、遺物等も検出されなかった。

２９　天川町字二子山前９６－１

開発面積　634㎡　　開発原因　アパート建設
調査日　平成14年11月13日
調査の概要

本開発予定地は前橋市文京町にある前橋天川二子山古墳の南側約200mの地点である。周辺の遺跡は県立文書館遺跡や二子山前Ⅱ遺跡などがある。

調査の結果、現地表下約30cm掘り下げたところ、盛土を確認し、その厚さは地表下1mまであった。掘削の間隔をあけて調査を行ったところ、地表下30cmでAs-Cが混入している黒色微砂層を確認した。さらに深く掘り進めたが、既に土層は破壊されており遺構・遺物は検出されなかった。

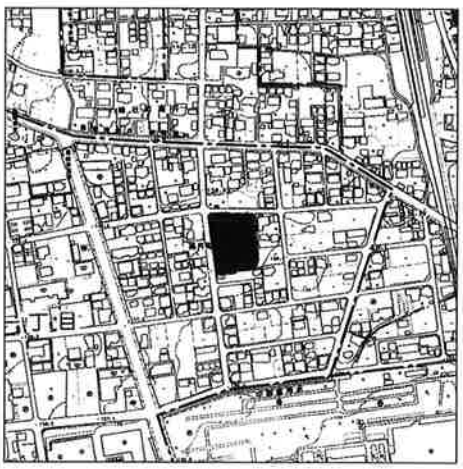
３０　上細井町１２１２－１

開発面積　3,784㎡　　開発原因　保育園建設
調査日　平成15年2月13日
調査の概要

本開発予定地は前橋市街地の北側、赤城山南麓の裾野に位置する。調査の結果、建設予定地東側に設定した1・2号トレンチからは、地表下50cmで旧河川の痕跡とみられる礫を多量に確認した。3号トレンチではHr-FPを含んだ層を地表下25cm～1mの間で確認した。

4号～6号トレンチでは水性堆積層が確認された以外は土層堆積状況に目立った変化はなく、遺構・遺物は確認されなかった。

３１　高井町一丁目２２－１０　ほか

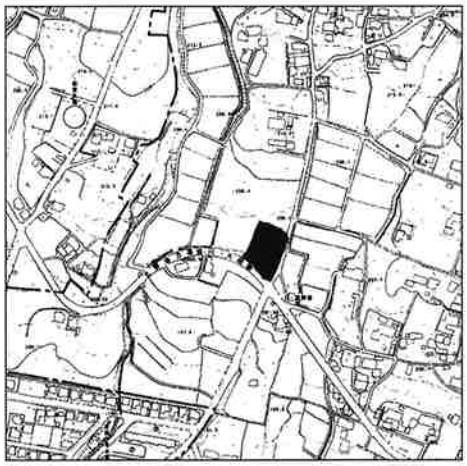


開発面積　　4,666㎡　　開発原因　宅地造成
調査日　平成１５年２月１７日
調査の概要

本開発予定地は利根川右岸の前橋台地上に位置する。開発予定地の西側には柿木遺跡や膏薬遺跡などが発見されている。平成6年3月には、今回の対象地の北側に店舗を建設する際に試掘調査を実施したが、遺構は確認されていない。

調査の結果、地表下70cm～90cmはバラス埋土でその下からAs-Cを含む土層を確認した。しかし、全体的に撹乱がひどく、土層は破壊されていた。遺構・遺物は確認されなかった。

３２　小坂子町１０２－１

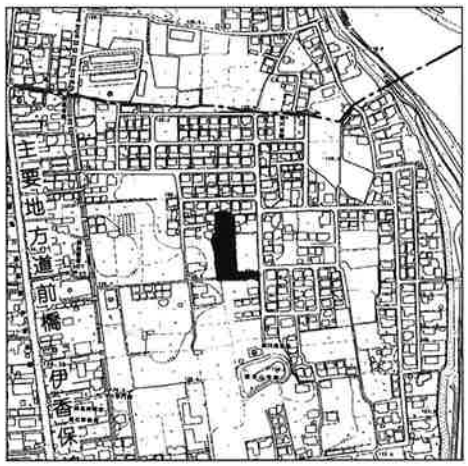


開発面積　3,724㎡　　開発原因　診療所建設
調査日　平成15年2月19日
調査の概要

本開発予定地は赤城山南麓斜面と呼ばれる裾野に位置する。開発予定地は縄文時代から均整に至るまで様々な遺構を検出した芳賀団地跡群に近い場所である。

調査の結果、地表下46cmから、深い箇所では110cmまでは埋土で、その直下にHr-FPを含む層を20cm～40cmの幅で確認した。更にその下の砂質の暗褐色土層を経てロームが確認できる深さまで掘削した。トレンチ断面及び底面を精査したが、遺構・遺物は確認されなかった。

３３　総社町総社字給人城川１３４９　ほか



開発面積　2,347㎡　　開発原因　宅地造成
調査日　平成15年2月25日
調査の概要

本開発予定地は榛名山に源を発する小河川が流れる利根川右岸の前橋台地上に位置する。開発予定地の南には遠見山古墳が所在するほか城川遺跡にも近い。

調査の結果、道路部分に設定した2本のトレンチともほぼ同一の土層で、現地表面から約30cmまでは耕作土、その下にHr-FP及びAs-Cを含む層が20cm～45cmの厚さで続き、それより下は総社砂層を検出した。2号トレンチで東西方向に1条の窪みがみられたが遺構とは断定できなかった。また1号トレンチで円筒埴輪片が1点、2号トレンチでは縄文土器片が数点出土したが、いずれの遺物も流れ込みによるものであった。トレンチ全体では土層堆積状況に変化はなく、明確な遺構は確認できなかった。

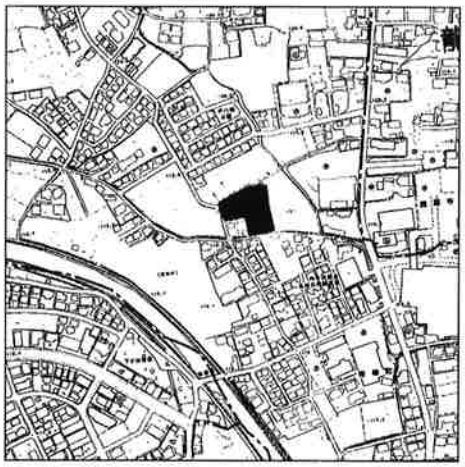
３４　総社町植野字西久保１１２７－１　ほか

開発面積　2,336㎡　　開発原因　宅地造成
調査日　平成15年2月24日
調査の概要

本開発予定地は榛名山に源を発する小河川が流れる利根川右岸の前橋台地上に位置する。開発予定地の北には、西久保遺跡、総社桜ヶ丘遺跡が所在する。

調査の結果、後世の掘削などの影響を受け土層堆積状況が判然としなかったが、現地表下から約30cmの厚さで耕作土、続いてAs-Bを含む層を挟み、その下に7cm程度のAs-B純層を検出したが、土層の堆積状況に変化はなく、明確な遺構は検出されなかった。

３５　青柳町字小八幡４４７－１　ほか

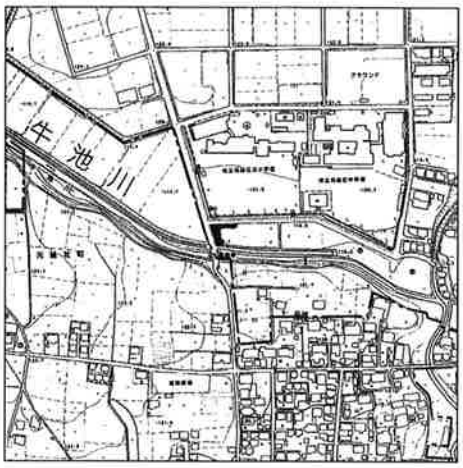


開発面積　2,956㎡　　開発原因　宅地造成
調査日　平成15年3月4日
調査の概要

本開発予定地は旧利根川河川域のいわゆる広瀬川低地帯に位置する。本開発予定地の約200m北には青柳宿前遺跡があり平安時代の住居跡を確認している。

調査の結果、道路部分に設定した3本のトレンチはいずれも土層堆積状況は同様であり、地表下約80cmで水性堆積層を検出した。いずれのトレンチからも遺構・遺物は確認されなかった。

３６　総社町総社３１５９－２



開発面積　240㎡　　開発原因　道路改築工事
調査日　平成15年3月13日
調査の概要

本開発予定地は榛名山に源を発する小河川が流れる利根川右岸の前橋台地上に位置する。開発予定地周辺の遺跡発掘状況は、元総社北川遺跡が本開発予定地のすぐ西側で行われており、古代の水田跡などが検出されている。

調査の結果、現地表面から約60～100cmは一部ゴミなどが混ざる埋土であった。トレンチ北端付近では埋土の下に黒褐色土の堆積がみられたが、中程から最も川に近いトレンチ南端部にかけては水性堆積の痕跡が明瞭となった。また、トレンチ中央部でAs-Bの堆積がみられたが、流れ込みによるものと判断した。土層堆積状況に変化がなく、明瞭な遺構も検出されなかった。出土遺物も皆無である。

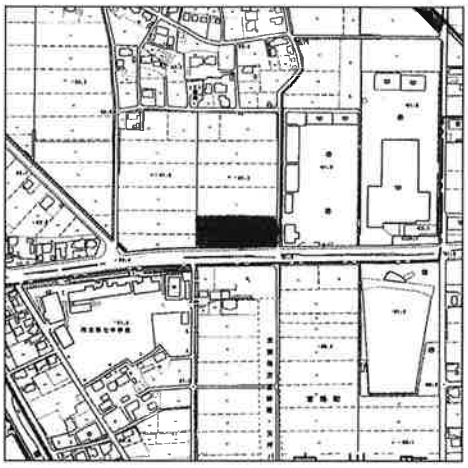
３７　下新田町字町下６０１－１　ほか

開発面積　1,527㎡　　開発原因　ケア型マンション建設
調査日　平成15年3月19日
調査の概要

本開発予定地は利根川右岸の前橋台地に位置する。この近辺は古代の土地区画制度である「条里制」の残る地域とされている。周辺部には、北西200mに平安時代の水田跡が発見された下新田中沖・中沖Ⅱ遺跡があり、東側約150mに平安時代の住居跡が見つかった下新田遺跡がある。

調査の結果、現地表下約80cmまで埋土だった。その下層に暗灰黄色粘質土層、黄褐色粘質土層を確認した。トレンチを2本設定したが、両方とも土層堆積状況は同様だった。トレンチ平面及び断面を観察したが、遺構・遺物は確認されなかった。

３８　下佐鳥町４６６－３・４６７－３



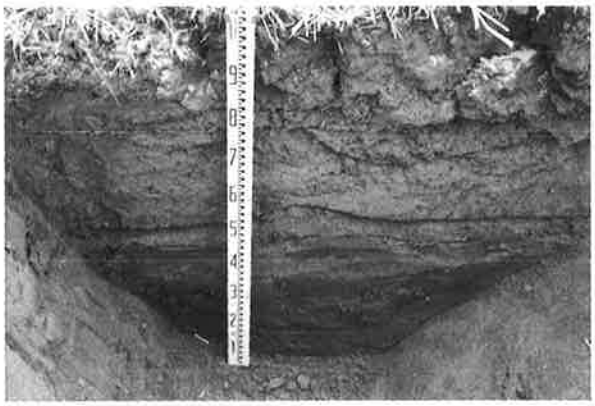
開発面積　2,002㎡　　開発原因　店舗建設
調査日　平成15年3月20日
調査の概要

本開発予定地は利根川右岸の前橋台地に位置する。周辺地域には西善壱町田遺跡や東田遺跡・宮地内田遺跡など平安時代の水田跡が確認されている。

調査の結果、地表下約50㎝までは埋土であった。その直下には非常に堅く締まったバラス混の埋土があり、重機で掘削することが不可能であった。トレンチは東西方向に15ｍほど延ばしたが、全面的にバラス混の埋土であった。掘削範囲が廃棄物の影響で限定され、南北方向には4ｍ程度しか延ばせなかったが、そちらも同様な土層堆積状況で、重機での掘削は不可能であった。遺構・遺物の確認も皆無であった。

PL 1

1. 宮地町



2. 宮地町

3. 青柳町

4. 田口町

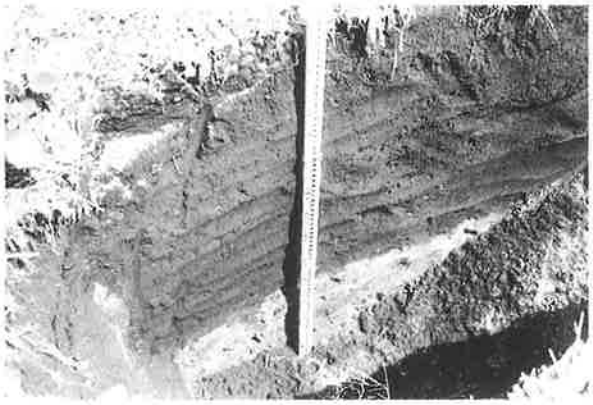
5. 東善町

6. 六供町

7. 大友町

8. 古市町

9. 下新田町

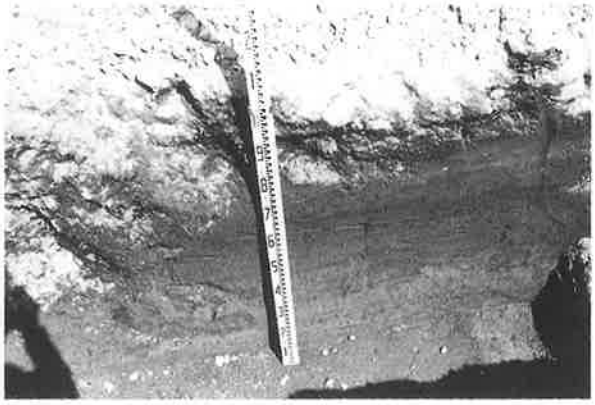


10. 総社町植野

11. 青梨子町

12. 昭和町

13. 石倉町



14. 国領町

15. 箱田町

16. 西善町

PL 3

17. 西善町

21. 背柳町

18. 東片貝町

22. 山王町

19. 江木町

23. 富田町

20. 表町

24. 後家町

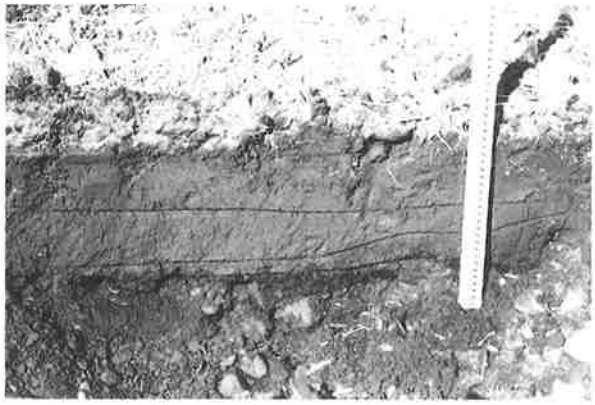
25. 上新田町

26. 荒口町

27. 箱田町

28. 堀之下町

29. 天川町



30. 上細井町

31. 高井町

32. 小坂子町

PL 5

33. 総社町総社

34. 総社町植野

35. 青柳町

36. 総社町

37. 下新田町

38. 下佐鳥町

平成14年度　市内遺跡発掘調査報告書

平成15年３月16日印刷
平成15年３月25日発行

発　　行　　前橋市教育委員会文化財保護課
前橋市三俣町二丁目１０－２
☎０２７－２３１－９５３１